

サマースクール

昔むかしのべつかい

勾玉づくりを実施しました。

8月9日(水)参加者20名により、「昔むかしのべつかい 勾玉づくり」を実施しました。

はじめに、別海町の大昔のお話しをしました。縄文時代の遺跡、土器、石器、人骨など遠い昔から生活の営みがあったことがわかったかと思えます。そうした中で、縄文人が装飾品として身に付けていた「勾玉」作りに挑戦しました。石は滑石を使いサンドペーパーで真剣に削りました。2時間ほどで思い思いの勾玉が完成しました。参加してくれた小学生は夏休みの工作として出品するそうです。



ふるさと講座・歴史系第3回目のお知らせ!

「擦文・アイヌ時代～オンネニクルの森を歩こう・野付 1.2 遺跡」

野付半島の自然、森に残された古代竪穴住居跡・チャシ跡を探索しようと思います。

- 日 時 平成29年10月15日(日)
午前10時～午後2時
- 場 所 野付半島
集合：野付半島ネイチャーセンター2階
- ガイド 郷土資料館職員
野付半島ネイチャーセンター職員
- 定 員 20名・10月13日(金)までに下記の方法
で申し込み下さい(先着順)
- 申込方法 電話・FAX・メールのいずれかにてお名前・電話番号をお知らせください。
- その他 気候が変化しやすい時期なので、防寒着、長靴を着用ください。
昼食は現地で取りますので、お弁当、飲物を持参ください。



加賀家文書館特別展 リバイバル展のお知らせ！

- 日時：8月1日（火）～9月30日（土）
- 場所：加賀家文書館

「江戸時代のノツケを探る

～野付通行屋跡遺跡発掘調査から～

（平成19年度第5回加賀家文書館特別展で実施）（A1サイズパネル14枚）



「北の開拓地で 生命 をむかえる 拓殖産婆と開拓保健婦たちの足跡」－北海道別海町のお産の歴史－

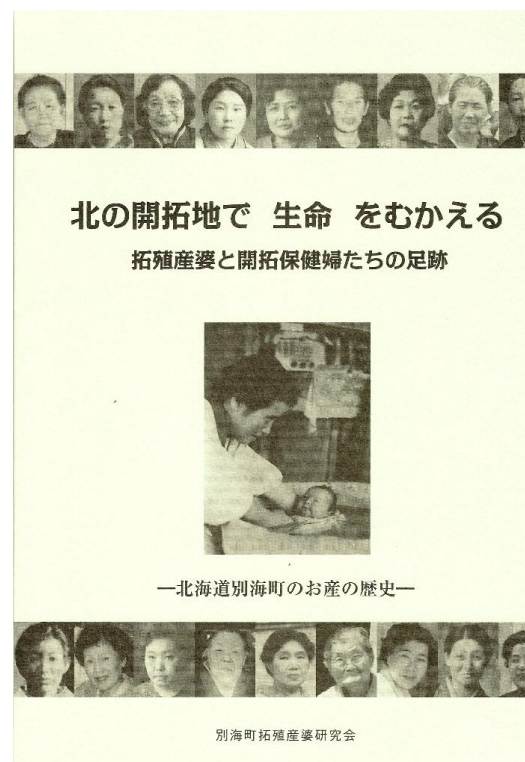
別海町拓殖産婆研究会

この小冊子は、清水節子さん（元別海町母子健康センター助産師）、小泉久美子さん（元別海町役場保健師）が平成24年（2012）から5年にわたる調査を経て刊行されました。

その内容は、広大な面積を有する別海町に開拓に入った入植者たちを支えていた助産師たち、昭和初期の第2期拓殖計画の中で配置された「拓殖産婆」、その後の「開拓産婆・開拓助産婦・開拓保健婦」など生命を司る職務を全うした人々を別海町の歴史から忘れ去られないようその存在を掘り起こしたものです。

著者たちは、別海町開拓の歴史を学び直し、地域の人達や家族の方々の貴重な情報を得、その消息を辿り、公文書などの調査も行っています。

写真、図、資料などを豊富に使い、162ページという内容ともに厚みのある小冊子となっています。非売品のため図書館での閲覧となりますが、ぜひ、お読みください。



別海町郷土資料館だより No.218

発行日 平成29年9月1日

発行所 別海町郷土資料館
別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802（FAX兼）

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

別海町拓殖産婆研究会の小冊子のご紹介をしましたが、こういった歴史の一面があるということに、気付かされました。そして、著者たちの苦労も大変だったこととご推察いたします。多かれ少なかれ忘れ去られようとしていることを記録に残すことの大切さを今一度思い知らされました。（石渡）